

して登場した。国内的には国家地主資本主義によって生産諸関係を有利に展開した。それによって農漁村の荒廃、大企業中心主義の合理化、産業構造の多量化労働者の力断ち分配を完成した。

そのため、土地を奪われ、駁屈を奪われ、家庭も破壊された零細農漁民、労働者は、大量に大都市に流入し、都市労働者の最下

名の機動隊を相手に、薦列なる市街戦を展開した。

それは、10・8羽田斗争の7年前である。一の回いでみられたへ米騒動型へからへ対権力斗争へへの変化の中に、フラムカラードヤへの釜ヶ崎の変化、日本の産業構造の変化を読みとつた者はいなかつた。

戦後の日本資本主義は、広大な海外植民地を失つた。日本は、敗戦による生産力低下を米帝の庇護のもとで徐々に回復し、対外的ではアジアにおける米軍兵站基地と

ついて述べたい。

金刀崎・ナガの総括
はじめに
この崎の現状についてには、金刀
崎・キヤンマーに参加された、最も
して報告をなされたのであ
るが、金刀崎は、労働者

PART I

金ヶ崎の現状については、金ヶ崎リーウ・キヤンマーに参加された諸君によつて報告がなされるとあらう。一へては、金ヶ崎を金ヶ崎たらしめ、金ヶ崎行商人を作り出していける社会的状況と、それに対する挑戦して一敗地にまみれた我々の斗争報告、及び今後の展望について述べたい。

層に勞役力行商として流動を開始

最もハンディを負うてゐる部分は、日雇労働者となつた。彼等は労働者寄せ場のある場所すなうに集中する。しかし、労働者の増加に伴い賃金は低下し、安価な労働力に対して建設、港湾だけではなく全産業がハイ工業の如く彼らに群がつた。この循環の中で、ますます金力崎は肥大化し、労働者の判断と分配、構造的差別は全産業のものとなる。我々はここで、差別全般について論じないが、民族差別はイデオロギーが先行し、部落差別、金力崎差別は下部構造（介業）が先行する。だが全ての差別を貫ぬいている一本の糸はある。

革命にあらへるの夕。

だ。一のへ人向性回復の叫び、こそ暴動の原動力であり、現存社会を变革するのに必須の資格証である。

釜丁崎が収奪されていきどう理由ではないが、人民からの収奪物である教育の上でもって、華やかな虹の如き、革命論議を掛け合う者に対する、釜丁崎は叫んでいる。

「奪つた物を返せ、それなしに我々は生きる」ことをやしない。諸君の

廿 万年革命状況の金刀崎

「さて生起した。
反つてくるの声に変化はなかつた。
「自然発生的騒動じやだめだ」
「しよせん、ルノアロヤからな」
「エレキトヘ生産の」とか?」

と直結していなければだめだしと。
今、釜ヶ崎は田畠のをやめた方に
見える。そして叫ぶのをやめて向
直そうではないか。

「建設、港湾、運輸、鉄鋼、化学、
造船の基幹産業のなたで、釜ヶ崎的
労働者の存在なくして経営可能なも
のがあるのか？」

は、金ヶ崎南方年革命が児にある」との証明ではないのか?」
「ハ台のテレビカメラと、介護単位の五行あきのやトロールの意味するものは何なのだ?」
「斗争に目的意識性を注入するのは誰の任務なのだ?」

■ 未来は虚びついた勞働者のもの
内外殖民地からの超過利潤の腐
肉の分け前にあるかり、政場にあけ

る労働者に断ち配を肯定する階層に
依頼する日本共産党南大阪地区委員
会のケルンはどこにあるのだ？」
「金ヶ崎にある人民奪取機関一組
合センターに彼らはいるじゃないか。
そこ彼らは、毎日雇主を無権利、
無保障のまゝ資本に売りわたしてい
るのだ。　（次頁につづく）



定期送共
1部 30円
振替口座
大阪 1264
自由連合社

その党員が我々のへやンター理解
を強く攻撃指摘して、結局、我
々を売つたのです。

二千五百斤下層木組

アの革命とか、あるのか。あつたとしても、それはチヌル・インテリケンチャの官僚独裁以外の何ものでもあるまい。

的存続にもかゝわらず仮家業譲りの
非アーリア性を持つてゐるこ
とを知つてゐる。しかし、烽火に
點し出された従事の反権力の潜在性
意識も無視としてある。我々は専
ら一ひと止めて、自らの足で立つ
て、一のエネルギーを組織しなけ
ればならぬ。未来は最も避けら
れた劳动者のものでなければなら
ない。

L I B R A

用25日

第一回

マ ① 釜ヶ淵とは何

② 斎國博とは何々?
回題提起の途中で、参加した方
名の筆下、論考作者からの発言が続
出し、「リ一語譜」に切り取れた。
初めて血色生張の場じめぐり合つ
た労働者の発舌の渦の日で、我々
はたじろぎながらもお腹の空きの懐
腹を確認し合つた。梵天塔の佛を
我々西陣が持つこと、その形態
がへ京都官人眼にあるとこつ
とだ。

行商人が失業し、飢え、傷つき、病み、死んでゆく現状では金で論の古風斗争は不可欠のもので、それなのに「革命的」は誤解的である。したまうに迷惑の原因とするところなる。今は、全華西成行会への加入勧説と、より一につきの影響力の拡大をめざして、誰が組織するか、関係なく、その革命的存在の敵、「田庄運動」を展開する。

再び自分そのものの存在に疑問を投げたければあればいい。

卷之三

仲間の一人が、深夜半片崎で腹痛を訴えた。私はありてて消防署に救急車の廻行を求めた。「急患です。

一拳一剣で差別を回り切っている。それゆえ「私のなすことは常に自己のあり方、生き方をみつめ、同時に内なる差別と対決し、自己の変革を進退繰り返しつつ、それによつて社会の変革に参加する以外にない。

急いで下さい」といへら叫んで彼
らはむしろ迷惑な態度だった。ぶ
つめらぼうに、あけくの果ては「あ
金はあるのか」と、聞く始末。一の
時、彼らに向ひつて怒りをぶつける
前に、私の口では『私は金ヶ崎の
人間じゃありません』という言葉を
喉の先まで出なかつていた。何處一
の言葉を押し出そうとしたことか。
私の心の中を薫しに薫蒸せ織り返さ
れていた。一の言葉を發する時、私

の今までの金子崎のすべてが消え去
つてしまふような気がした。しなし
“金子崎の人にじやない”といふ意
識が私の心の中に生じたときから、
すべてがもとにもどつていたのであ
る。

差別からの自己脱却に努力しつつも、抜け切ることのできない自分。一步も前進していなった私。今回の大刀堀キヤソウでは、大刀堀の車に入つて交えたと云う自信さえも、もうにつぶれてしまった。結局は、

金ヶ崎に入り切れず、自分の差別感
情を誠実にふるまうことと笑いとで
するくあおいなくし、おもしろおか
しくに自己満足していくにすぎない。
　　スマ、部落、韓国人、貧民、施
設、ライ、大学、恥場、黒人、差別
の対象は、山達の四つ一無数である。

そして私自身がこの中の差別者であり、被差別者である。こうに抑圧者であり、被抑圧者をあらう。なぜなら、根源的なものは別として、この差別、抑圧が今日の葛絨社会の姿だから、そして、この社会の生活に

甘んじ、身も出でていの私自身が抑
圧者でなくて何であろう。

“私は金手に崎の人間じやない。部
落の人間じやない”といふ安心感。
常に自らを被差別者と見なして、
また被差別者としての苦しみ、それ
によつてしか自分の社会的位置を、
具体的に確認することが出でなかつ
た。違うんだとつのつ、無意識
には、他人との比較の下での私の行
為に、何の価値が見出せるだろうか。

再び自分そのものの存在に疑問を持
て外げずにはあれまい。

FEDERACION LIBERA

1970年9月25日

(P3) 自由連合 第20号



S 次への出発のための準備
（作成：西澤社の時びたか） 一度にちぎつて金手帳との連絡の可能性を確認して、労働契約書もまたがれたが、その問題はまだこなれて進めた「下巻部」川崎君に、ヤンツが来た時、まだ何が残ったかを語り合っておいた。
K 金手帳として、連絡をとるのに相まっていました。ヨロケ糸、トヨミ音、〇は連絡ですか。
S 金手帳に書かれていたのか、
K 僕は金手帳です。田舎の原生林の中の川。
S 金手帳に書かれていたのか、そんなに大切やうか。
K 金手帳に生活の場をわざわざ行く。それで運動を作り、しかも毎日腰をぬらせること一緒にやるのか。
そやけん組で、年々同じくして、お家の大作家の。組手帳で、お家が腰をぬらせること一緒に運動を組むのです。体力的にも、気力的にも、便にはしくなります。
S そやけど、金手帳の人間共有人全員も、運動の対象にかかることはよくやれ。
K それと、金手帳で、みんな一緒に併せている腰からお互いの接觸する場があるんですよ。
S やはり共同体のイメージが出てくるんだから。仕事場で運動を作る場はねへんじだよ。生活の場で運動を作らせるかん。そのためにも、みんなが共同生活のため必要なんやう……。それには金手帳のしゆ。

O わなこしたば金手帳で団体が組めるやう。
人生なんかないの人生でやくんで。
それがひとつの生き共同体みたいになんか。
K もうかにしても、ハービセントルーフーとも人がやうやく。生きに接觸するところが本主義社会の底に張るんやう。最近、カネカ帝都や、設計事務所の巨頭が、金手帳西成分会にまた伸びてくんなは、とくの性格も変わるものやうな。
S 金手帳（人道）人道（金手帳）
○ 金手帳が戦闘、最近、人管同僚を積極的に立ち出しながら、金手帳で人管同僚ややうな。やるんやえんや。
K 金手帳で入管モ、支配者があんなひきに運え付けた差別主義とかつか。同じの場所はうやつた。一方せカジラの分断主義で、金手帳は市民社会の分断を断つてあるんやう。
S それにしても人管でのひとつ目の引き回し流れがつかない。この前も、解説解説が「労働者を入管同等の集会につれて行っても、ひとつ目のたがはつき見せられるべつたら、金手帳の方の方が集まつて来るが、あれ程やうこことはなかつた」と語つてました。金手帳の方の方が、ひとつ目の連中おへんと既にやうござ入管同等のつて書るんやうな。

K 金手帳と入管モ、支配者があんなひきに運え付けた差別主義とかつか。同じの場所はうやつた。一方せカジラの分断主義で、金手帳は市民社会の分断を断つてあるんやう。
S それにしても人管でのひとつ目の引き回し流れがつかない。この前も、解説解説が「労働者を入管同等の集会につれて行っても、ひとつ目のたがはつき見せられるべつたら、金手帳の方の方が集まつて来るが、あれ程やうこことはなかつた」と語つてました。金手帳の方の方が、ひとつ目の連中おへんと既にやうござ入管同等のつて書るんやうな。

K 金手帳から入管は出てくるとも知れんけど、入管から金手帳はなかなか出てこないんやうな。

S 新聞じつた「スポーツ新聞」にしきあまつ読めただり、そぐな法律的な政治問題についてのことを何か知つんか。
O 金手帳には、朝鮮人の労働者が多いけど、入管しゃれどもある程度困窮なものは、政治問題で金手帳にあらへんじ、政治上では結構な問題が抱えてるんやう。
S 金手帳で金手帳といふと、そんなに大切やうか。
K 金手帳にあらへんじ、金手帳に生活の場をわざわざ行く。それで運動を作り、しかも毎日腰をぬらせること一緒にやるのか。
そやけん組で、年々同じくして、お家の大作家の。組手帳で、お家が腰をぬらせることと一緒に運動を組むのです。体力的にも、気力的にも、便にはしくなります。
S そやけど、金手帳の人間共有人全員も、運動の対象にかかることはよくやれ。
K それと、金手帳で、みんなと一緒に併せている腰からお互いの接觸する場があるんですよ。
S やはり共同体のイメージが出てくるんだから。仕事場で運動を作る場はねへんじだよ。生活の場で運動を作らせるかん。そのためにも、みんなが共同生活のため必要なんやう……。それには金手帳のしゆ。

O 「金手帳の差別構造」
○ 金手帳は差別の問題やんか。ハービセントルーフーの話でも、「差別」に結び付けるふらんちで共通項があるのがわかるじてたけだ。

S 美術を通じておられたんじやんや。美術を通じておられたんじやんや。金手帳の問題はなんのふらんちで、金手帳の問題はなんのふらんちでたけだ。

K 金手帳の問題が出てくんで。口添は金手帳がなかなかつたう生きの伸びへんから、大衆に差別され付けるんや。大衆は差別の対象でもハービセントルーフーは、自分の階級社会における階級的位階れられてしまつてや。それで、金手帳に対する差別が金手帳に対するふらんちでなんねん。

S 金手帳は金手帳の差別による、金手帳の問題のふらんちで、金手帳の問題が金手帳の問題のふらんちでたけだ。

O 一そひの金手帳ヤンヤ、かくての絶縁は金手帳の問題が金手帳の問題のふらんちでたけだ。

S 金手帳は金手帳の問題が金手帳の問題のふらんちでたけだ。

K せの金手帳へ労働者」とへ労働者と使い方けんじるかは、金手帳へ労働者とへ労働者と使い方けんじるかは、金手帳へ労働者とへ労働者と使い方けんじるか。

O まあ差別用語としての労働者は確かに存在するやう。そやけど労働者とどう言葉のイメージが付いてるやう。ホワイトカラーとへ労働者と呼ぶことのほうが少くない。

K 労働者と差別用語がやうな、使うと自分たちの立場を取つたのを表つてし、かえつて自分を一面的にしてるやう。そやけど労働者とどう言葉のイメージが付いてるやう。ホワイトカラーとへ労働者と呼ぶことのほうが少くない。

S へ労働者と差別用語が労働者と差別用語であり得るやうやう。差別いうもはあくまで相対的なものとちやうが。

K 相対的なものの意味で、西澤社会・政治の重要なひた社会では、それまでに表ひつての、日常生活で使つたら、他のじうんな構造を消してほんやんか。そやから、へりいろ、土壙りんへりいろ、田舎へり、ええやんか。

X ハヤ、ええやん。ハハハ……

「どんな仕事やねん、ヨゴヘ汚レやろレ」チャウチャウ、何やつたら手拭いかうタビまで面倒みるでしょそやけどえらい単価安いやないか」「そらそんだけの仕事やからや」「手配師の言葉を信じていたら馬鹿をみると言つこいだろう。彼らの仕事は飯場に人間を送り込むだけだ飯場の人間でない彼らにとつて、そこの仕事がどうであれ知つたことではあるまい。メシ代をゴマかす事ぐうい朝×シ前だろう。

別に行く気もなく受け答えしていだ僕だったが、明日から食べて行く道もない。二、〇〇〇円×10日へ契約／＼ニ〇、〇〇〇円という計算式に引きずられ、手配師のコロナに乗

きはゞもない。一度夜露に濡れた重い体も自然と寄り場に向つていた。
アスレたのか、仍く氣などこうそ
らないのか、多くの地下足袋が右往
左往している。頭をかかえ坐り込ん
でいるオッサン。あちこちで持たれ
る話の輪。この社交場のすゝ間をフ
タを持つた手配師がこれと思わん者
に声を掛けて行く。

しかしここにモ、"釜ヶ崎"はあつた
"釜ヶ崎"とは散在する飯場と、大
阪の一区画とを結ぶ無限の糸の代名
詞なのがもしかれぬ。

○月×日 昨夜は公園のスケ
太平の説にいのそ

果して秀に重機は無かった。強いて言つて言つたなら、釜ヶ崎行動の続きであつたし生活のためでもあつた。

ここで経験は、『釜ヶ崎』という言葉の重みを感じさせるに充分だつた。『釜ヶ崎』といふ呼称は、大阪西成区の一区画を指すものではあるしかしここにモ、『釜ヶ崎』はあつた。『釜ヶ崎』とは散在する飯場と、大阪の一区画とを結ぶ無限の糸の代名詞なのかもしれぬ。

A hand-drawn title page for a diary. The main title "はんば 日記" (Hanba Diary) is written in large, bold, black ink. "はんば" is on top, and "日記" is below it, with a small circle at the end. To the left of the title, there is a large, curved, multi-line signature or drawing that appears to read "うめぼく" (Umeboku). Above the title, there is a box containing the text "兄弟の事に来てくれへんか" (Will you come to our brother's thing?). Below the title, there is another box containing "手見せてみい" (Show me your hands), "お前あんまり" (You're not much), and "ツル持ったことないゆか" (You haven't held a crane). To the right of the title, there is a vertical column of text that includes "ええか" (Yes), "す若" (Young), "すみ町" (Sumi town), "長いことあつた" (It's been a long time), "あかんどう" (Akandou), and "みたいなとこ" (Somewhere like that). At the bottom right, there is a box containing "《下条がある》" (There is a Shimojo) and "金田の親方" (Kintarou's master). On the far left edge, there is some very faint, partially cut-off text.

本異端考力江仲間

「近々で居た。仙台人が累のないのか一〇時を過ぎてモ車は出ない。朝から何も食みていないので手配師に声をかけると百円玉二枚を腰巻きから出してきた。二百円のサービスなど安いものだ。僕を飯場に放り込むだけで二千も三千円は手に入いる。

下請林組の下請、つまり孫請らしい場所は京都府宇治、ユニチカ宇治工場の北裏にある。親方は日本名金田を名乗る朝鮮人だつた。釜ヶ崎では金田親方のことば“金さん”と呼ばれてあまり乗りたがぬうしい。それで釜ヶ崎で人を拾う時は林組の名を使うという。

こここの仕事はユニチカ宇治工場、京都工場、大津NHK増築現場、松下電機小幡^{コワタ}工場、京都関電事業所新築現場と多岐に渡つてゐる。しかしまともな請取りは一つもなく完全なる夫出しに終始してゐる。しかしその人夫にして本雇いは七人しかいなかつた。つまりその冗埋めとして、飯場を維持するためにも、釜ヶ崎は

次いで別棟の食堂?に通され、サ
ービスとしてジーラー一本・ハイライ
ト一個が渡された。更に紙切れに本
籍と名前を書いてくれと言う。とな
りに坐つて居たオッサンが「名前は
何がエエ」と聞いてくる始末。(によ
せん流れ者にとつてそんな事は問題
ではなかつた。

部屋のスミではすでに先着の釜ヶ崎組がビールを飲み横になつていた。今日釜ヶ崎から来た連中は全部で六人。三〇代とおぼしき人が一人、残り四人は全部四〇代という高年令層で占められていた。メンパンツに丁シャツという一〇代の僕は当然目立つ存在となり、“ワカ”“ワカイノ”“ワカサニ”などと呼ばれることがとなる。

卷之六

恩が至る所でみられるようになる。その様な中で僕が沉默を守り通しになら集団生活において完全に敵視されたろう。その結果、なる白葉は一人のオツサニからイヤといつ程聞かされた。——同じ釜のエシを食う——これである。

意外と小食だった。メシを食つていると親方からユニチカ宇治工場行きを言い渡された。仕事はカジの手元へ滑稽助手として樂なものだと聞かされた。

工場は飯場のすぐ裏にあるのに通用門まで歩けば十五分はかかるだろう。マイクロバスが止ると釜ヶ崎組は四人降った。あとの二人はそのまま大津行らしい。最年少の僕は皆の弁当を持ち後ろからついて歩く。さすがは紡績工場若い女の子が多い。しかし期待に反し、釜ヶ崎組は声一つかけず、オシリ一つごわうず堂々の紳士行進を続いている。やはり人間一日目はおとなしいが、これが三日目

た。皆が起き出すのは六時過である。炊事のオバさんは四時半頃こちうに通つていろいろしく六時前になるとモウメシの用意ができるようになった。朝メシは食いたいだけのドンスリメシ、一寸塩からい具の少ないみそ汁、そして漬物、生卵へ三日に一度出れば良かつた。しかし朝からドンスリメシのお代わりをしてこのよ美ごう、おきのど、旨す

處が至る所でみられるようになる。その様な中で僕が沈黙を守り通したものなら集団生活において完全に敵視されたろう。その結果、なる言葉は一人のオッサンからイヤと言

必要となつてしる
× × ×
一人遅れて大部に遅つてみると
釜ヶ崎組は枕を並べて話がはずんでいた。やはり僕はすんなりとは話の輪に入ることができなかつた。誰かが話しかけてくれなければ黙つたままで居たかも知れぬ。

四日目になると樂しくなつてくる。
 カジの手元にまわされたのは二人だけだった。僕ともう一人のオッサンは地下室に寝బされた。地下室といつても一階と二階の間にあり、機械整備・排水のための所だ。頭上では原糸巻き取りモータが唸りをたてている。薄暗い裸電球。暑い、全く。中に居るだけで汗が流れる。天井の低さは背筋を伸ばすこと認められない。“チカミツリ”というのはこの工場では一番に嫌われていると聞かされた。そしてここには釜ヶ崎の人間が必ず入ってくることだ。仕事はキツイ、二千円じや安過ぎる。一個十五kgのモーターの交換だ。まず台座の掃除・原糸の精製に希塙酸を使つていての台座にはその結晶がビッシリ付着している。注意してノコ刃で落さなければ眼の中に飛び込んで来る。強烈にしみる。ボロボロ汗を流しきる。狭く限られた場所で扱う十五kgは二十、三十kgに感じる。十時の小休には、ポケットに突っ込んだハイライトが汗で吸えない状態になつていた。

⑥ なめられたものだ

一層までに四十台程片付けたうか。昼休みには開放感と共に弁当にかぶりついていた。大きな弁当箱、小さなおカズ入れ。梅干し一個、干魚、焼スルメ数本、朝の煮物少々。食欲が湧かずとも食ねばならなかつた。何の事はない僕と一緒に地下室で働いていたオッサンがトンコへ逃げた。奥仕事始めて三十分程たつ頃、「ちよ」と上へあがつてくらしと声をかけられた事だけは覚えていた。皆に聞いても問題にもしなかつた。

×
 非情にも一時のサイレンが響き渡る。こんな状態で十日間も体がもつだろかと思ひながら、重

い足を運んでいると、一人の工員が後ろから話しかけてきた。「地下室は疲れるやろう。そんでも二千五百円はもうどんやろ」僕の服の汚れから地下室を見抜いたのか「二千円しかもらとるかいな」と答えると「へエ」と声をあげて別れていった。昼からはモーターの台数も少なかつたので三時半には仕事は済んだ。早く帰つて仕方がないので工具の連中は二千四百円もらつていても若さうなのをつかまえて話を聞いてみた。それによると僕の以前に釜ヶ崎から来た連中は二千百円、その前の連中は三千四百円もらつていても言つた。飯場に帰つてその事を皆に話してみると、一人が「盆前でワシラの元元を見ようたんやろ」と教えてくれた。

なるほど契約の期限が切れるのは丁度お盆前だつた。盆には釜ヶ崎に来れる車はメキ少くなる。中には故郷に帰り暮まいりの出来る者もいる。どうなればまとまつた金の入る見通しのもの。資金ダウンだろ。仕事にどうと思つていた僕は完全に裏切られていた。

⑥ オッサン起きてくれ!
 やはりここで生活も酒を抜きにして語ることはできなかつた。今日の朝もどうだつた。

仕事に出発する前大部屋に送り出された。僕の火を突き出してやつた。しかし手が震えてタバコとタバコの先が仲間合わないでいる。やつと火がつくりて吸つてはいるのか吹いているのか。どないかしたんかと聞くと酒が切れたらんやしとだけ答えてくれた。酒が入らないとメシを食えないし仕事をする気がしないと言う。なるほど朝は食堂に来ていなかつたようだ。

○月4日 今日ははじめて地下室へ行けることになつた。六日間も地

仕事は比較的樂むものだつた。新しいフレハブの事務所を建てるために、その場所に積んである木工材を片付けるだけのことだ。飯場から監督は付かなかつたし、初めて組むオッサンとの樂しい労作が続いた。午後から鉄筋を乗せた車に入るとかで昼メシを一時間延ばすことができた。それは十時的小休からだつた。しかし何事かが起つた。早く立ち過ぎた。樂しい気分に浮かれていた二人の足は酒屋に向かつた。僕自身仕事中に酒屋に入らなければいけない。しかしビール一本くらい、という考え方からオッサンに付き合つてしまつた。腹の中の一杯のコップ酒はオッサンの不れーキに油を注ぐようなくなりのオッサンは落ち着かずリワリ口ツと横になつている時だつた。となりのオッサンは落ち着かずリワリを採していただけた。僕の吸つていたタバコの火を突き出しこやつた。しかし手が震えてタバコとタバコの先が仲間合わないでいる。やつと火がつくりて吸つてはいるのか吹いているのか。どないかしたんかと聞くと酒が切れたらんやしとだけ答えてくれた。酒が入らないとメシを食えないし仕事をする気がしないと言う。なるほど朝は食堂に来ていなかつた。親方は口より足の方が先に死に起こしていった。しかしオッサンは死んだように目さえ開けてくれなかつた。親方は口より足の方が先に死んだ。つい先程までは怒りさえ感じていた僕の口から出るのはこのオッサンを庇う言葉ばかりだつた。

二、三回蹴られやつと上体を起したオッサン、そのボンはタツシヨリと濡れていた。親方はののしる「ええ年さらして寝小便さらしどんのか」と。

喉元まで言葉になりそうもない言葉がこみ上げてきた時僕はもう完全に虚脱感に襲はれてしまつてしまつた。

(未完)

淡路に反対するたゆる

に一埠の十埠を置くあつ

空港に反対するたゆる

一埠の土地を買ひ、その十埠を絶対に売らぬとして、一つ高値をもつて、空港に反対してくる運動です。今、淡路に空港が決定しようとします。

これに反対するのに、一埠運動への参加を呼びかけるものです。

☆一埠運動の有効性

昭和48年度中に大阪空港はパンにしてしまいます。政府も関西のどこかに新国際空港が必要だと昭和50年をのとに空港建設をすすめてします。ところが空港の候補地はまだ正式に決定していません。いつ発表をくつぬいています。これは、地元での空港反対運動のもり上がりをもとめたためのものであります。それから、そして一方では、室津伊・津名伊理め立てへ燃料・資材基地)、維賀道路(資材等輸送路)、北淡パイロットのタム(一時的な用水確保)、海床ケーブル(電力確保)という形で空港の予備工事はどんどんすすんでいきます。関東新国際空港の例をもつて予定地は一軒三軒しましたが結局、最初の北総台地に決定してしまいます。このままで、空港は淡路につくられてしまします。

①一埠運動の主な御苦同の方は左記に御連絡下さい。②兵庫県津名郡北淡町富島東之町 淡路空港研究会
金ヶ崎、舟繩、二里塚、船川……
と、こうみるとろへ出かけのむじへ共同体の可能性を追求するなど自分の問題意識の止むに止まり、要まから行くのをなければ意味がないように思われる。

いわゆる活動家へみだりに、精力的しあううちの内に「出でて」たり、同じの原典の連結を模倣する「こと、それに適した」ことはない。しかし現時案のぼくじとつては、自分(の原典の変革)で精一杯で、「ちよつとへ体験して」金ヶ崎へ……

(中略)

「空港はもう淡路にはないんだ」というふうに思われます。しかし、もし方が一、淡路に空港ができるのようなことがあると、私達の生活は、生命は、空港のため、あびやかされ続けます。私達はかつて、署名、陳情、請願、デモ、県の説明会実力阻止といつも反対運動を行なってきました。これからも、政府が住民無視の空港建設の野望をひきぬいて限り、このようなら反対運動を続けていく必要があるでしょう。

②一埠運動のよみかげ

土地を絶対に売らないところ

のであることは、各地の反対運動

をみても明らかです。淡路にともなうの敷地内の人々は空港に反対しています。しかし部署の中では少數派であるため、「反対の声をあげる」とかで生まれん。一埠運動

を行なつてきました。これからも

いが、反対運動にどつて有力なも

のであることは、各地の反対運動

をみても明らかです。淡路にともな

うの敷地内の人々は空港に反対してしまいます。しかし部署の中では少數派であるため、「反対の声を

あげる」とかで生まれん。一埠運動

を行なつてきました。これからも

いが、反対運動にどつて有力なも

のであることは、各地の反対運動

をみても明らかです。淡路にともな

うの敷地内の人々は空港に反対してしまいます。しかし部署の中では少數派であるため、「反対の声を

あげる」とかで生まれん。一埠運動

を行なつてきました。これからも

いが、反対運動にどつて有力なも

のであることは、各地の反対運動

をみても明らかです。淡路にともな

うの敷地内の人々は空港に反対してしまいます。しかし部署の中では少數派であるため、「反対の声を

あげる」とかで生まれん。一埠運動

を行なつてきました。これからも

いが、反対運動にどつて有力なも

のであることは、各地の反対運動

示板、印刷道具すらなしし、案内が送らないところである。
しかし今年に入つてから、本丸が少しすつ變つてました。掲示板など、まずはへ穏健な内容で案内新聞が五月にスタートした。そして七月、案内新聞の新造工事計画の一方的発表があつた。それに対して案生の存在無視の私有地に対するしては、ほとんど共施設建設のためであつても、持主の同意なしに賣して上げる「はめやかな」一法律も、多數の反対の前にはかの効力を失つてしましました。私達が一坪の土地を自分で持ち、誰が何と言つてもその土地を売らなければ、その土地を奪つてつ運動をつづけるかぎり、淡路に空港を建設するとはできかないでしよう。

夏期用寮をばくす、現在九月、いつも本省乗り込みとなつた。

の問題を通しての本省の審議会開催から、裁判の徹底的告発を、欺瞞的厚生福利の仮面をばかしつつ追ぼし、ひいては寮生を縛る詔規制の検討から、それのレゾン・データールの無効性を用ひながらしていく間に発展いたしました。

手前ひとこなのが、法務寮の内閣の造反は、大げさに言えど、自衛隊、警察の内部問題に相当する質をもつてゐるのではないかと期待していく。

こと思つてゐる。

手前ひとこなのが、法務寮の内閣の造反は、大げさに言えど、自衛隊、警察の内部問題に相当する質をもつてゐるのではないかと期待していく。

○自由連合20号アンケート

- このアンケートは姫路市亀山354へ送って下さい。
- 自連を毎号確実に入手する為には、直接定期購読して下さい。
- 自連購読料納入には振替口座（大阪1264）を使って下さい。
振替な自由連合社へ。向井電では届きません。
- あなたも自連に原稿を書いてみて下さい。記事になる様なビラ、資料、機関紙なども送って下さい。多くのタリーベとの交換を望みます。
- ④ 次の項目に○印などを入れて下さい。

■ 本号に注目する記事は

- (1) なかった (2) あった それは _____ 頁の _____
_____ 頁の _____

■ 読むほどでもない記事は

- (1) なかった (2) あった それは _____ 頁の _____
_____ 頁の _____

④ 今後の自連送付について

- (1) 即ち購読申し込み済 (2) 今号から購読する (3) 送付不要
(4) 時々カブリやするから送れ (5) 次号から～部に変更

あと		
な		
た		
の		

さしつかえない
くば聯業も

令

- ④ あなたの友人でアンケートを確実に返送してくれる人を紹介して下さい。
自連を送ります。

名前 _____ 住所 _____

今号からはウラも
絶対に見るコト。絶対に

○自由連合21号アンケート

1. 今号の記事中、次号では非筈えるべき疑問点なり問題点なりを書いて下さい。

2. 題題（入管斗争、或いは民族問題について） あなたはどのようにどちら、どのように行動していきますか。また何が理由ですか。

3. 通信欄（あなたの活動報告なし、近況報告なし、何なし） 充分でなければ別紙